

# 令和5年度 市債四季報詳細

## 1 市債残高

(単位:円)

区分	令和3年度	令和4年度			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	令和3年度末 現在高	新規借入額	元金償還額	令和4年度末 現在高	新規借入額	元金償還額	令和5年6月末 現在高	新規借入額	元金償還額	令和5年9月末 現在高	新規借入額	元金償還額	令和5年12月末 現在高	新規借入額	元金償還額	令和5年度末 現在高
一般会計 小計	39,048,255,396	5,253,600,000	5,287,152,109	39,014,703,287	0	129,647,701	38,885,055,586	0	1,648,701,244	37,236,354,342	0	985,028,362	36,251,325,980	4,501,900,000	2,386,275,612	38,366,950,368
公共駐車場事業特別会計	63,892,417	0	13,616,690	50,275,727	0	0	50,275,727	0	0	50,275,727	0	6,826,436	43,449,291	0	6,826,552	36,622,739
特別会計 小計	63,892,417	0	13,616,690	50,275,727	0	0	50,275,727	0	0	50,275,727	0	6,826,436	43,449,291	0	6,826,552	36,622,739
水道事業会計	1,681,935,091	0	264,234,280	1,417,700,811	0	0	1,417,700,811	0	124,208,078	1,293,492,733	0	0	1,293,492,733	0	125,494,277	1,167,998,456
下水道事業会計	21,478,474,787	1,129,200,000	1,474,622,222	21,133,052,565	0	0	21,133,052,565	0	432,667,434	20,700,385,131	75,300,000	267,369,332	20,508,315,799	952,400,000	704,952,735	20,755,763,064
病院事業会計	12,816,273,891	323,000,000	1,197,075,776	11,942,198,115	0	0	11,942,198,115	0	464,327,500	11,477,870,615	0	126,069,812	11,351,800,803	285,600,000	590,882,799	11,046,518,004
企業会計 小計	35,976,683,769	1,452,200,000	2,935,932,278	34,492,951,491	0	0	34,492,951,491	0	1,021,203,012	33,471,748,479	75,300,000	393,439,144	33,153,609,335	1,238,000,000	1,421,329,811	32,970,279,524
合計	75,088,831,582	6,705,800,000	8,236,701,077	73,557,930,505	0	129,647,701	73,428,282,804	0	2,669,904,256	70,758,378,548	75,300,000	1,385,293,942	69,448,384,606	5,739,900,000	3,814,431,975	71,373,852,631

## 2 市民1人あたりの市債残高

(単位:円)

区分	令和3年度末 現在高	令和4年度末 現在高	令和5年6月末 現在高	令和5年9月末 現在高	令和5年12月末 現在高	令和5年度末 現在高
一般会計	209,625	209,403	208,707	199,858	194,571	206,201
全会計	403,103	394,806	394,110	379,780	372,749	383,594
年度末住民基本台帳登録人口(人)	186,277	186,314	186,314	186,314	186,314	186,066

### ■市債残高について

地方公共団体では、一度に多額の費用を要する公共施設の整備などに、税金や国・県からの補助金のほか市債という借金で財源の調達をしています。特に公共施設の整備については、現在利用されているだけでなく、将来にわたり多くの世代に利用していただくものであり、整備費用を一度に税金で支払ってしまうよりも、市債を借りて将来にわたって返済を行うことで、世代間の公平性を図ろうという考え方に基づくものです。なお、市債残高には税金で負担するもののほか、国から財源補てんされるものも含まれています。また、特別会計及び企業会計は、それぞれの使用料等の事業費収入が市債償還の主な財源となっています。

### ■豊川市の取り組み(一般会計)

豊川市では、将来負担を軽減するため、元金償還額を下回る範囲での新規借入の実施による市債残高の減少に努めています。

### ■公表時期について

次回の公表は、令和6年7月中旬(令和6年度第1四半期(令和6年6月末)現在高)を予定しています。